



一般社団法人 日本物流団体連合会  
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013  
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号  
全日通霞が関ビル5階  
TEL:03-3593-0139  
FAX:03-3593-0138  
URL:www.butsuryu.or.jp

## News Release

令和2年10月2日

### 第17回「物流連懇談会」を開催

(一社)日本物流団体連合会(渡邊健二会長)は、10月2日(金)、東京都千代田区の学士会館において、第17回「物流連懇談会」を開催した。この物流連懇談会は、物流業界の幅広い会員の参加を得て、会員への情報提供、会員相互の情報交換・交流のために行われている。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで対面にて開催する運びとなった。今回は、F-L I N E株式会社 代表取締役 社長執行役員 深山隆氏から「物流業界の課題とF-L I N Eが描く『超・物流』戦略」と題する講演が行われ、会員企業の代表者や幹部など69名の参加があった。

冒頭、渡邊物流連会長の挨拶ののち、講演会が始まった。

講演では、同社の前身となる食品メーカー6社で立ち上げた「F-L I N Eプロジェクト」の目的、プロジェクトから会社として立ち上げ、北海道と九州で行ったトライアル事業の内容、さらに食品メーカー5社の出資による新生F-L I N E株式会社の設立に至る詳細なプロセスの説明があった。

さらに新生F-L I N Eのミッションとして現在「物流の整流化」、「物流関連プラットフォーム」の構築、「永続的な物流競争力」の実現に向けたそれぞれの取り組みについて説明があった。「物流の整流化」では、食品メーカー6社(カゴメ、味の素、ハウス、Mizkan、日清オイリオ、日清フーズ)における伝票統一によるムダの排除、工場から食品卸までのリードタイムの1日延長による計画配送の実現、荷卸時のサービス作業の排除などの取り組み事例の説明、「物流関連プラットフォーム」の構築では、先の6社に加え、キッコーマン、キューピーに参加を呼びかけ、「横連携」を強化し、食品卸、小売りといった業界の「縦連携」による課題の解決に向けた具体的な検討についての説明があった。そしてこれらを基盤として人材育成、設備開発、新技術の導入を積極的に取り込み未来につながる「永続的な物流競争力」の実現を目指していくという長期的なビジョンについても説明が行われた。

講演後の質疑応答では、受講者から、食品卸との交渉の進捗状況やさらなるメーカーを加えた「横連携」の広がり、これら課題の達成期限など踏み込んだ質問があったが、ひとつひとつ真摯にかつ詳細に回答する深山社長の熱い姿勢が印象的であった。

以上

担当: 栗山



渡邊会長の挨拶



講演する深山社長



講演会風景



活発な質疑応答